

箱のお家

及川ふみ

今年の五月頃から紙の空箱を幼児の家庭から二つ三つづゝもつて來てもらつてお家を作りはじめました。

しやぼんのあき箱、お茶の罐の箱、お菓子の箱帽子の箱など各自包も形も種々様々にちがつてあります。一人の幼児が一つは家の外形をつくり一つは室内をつくりつまり二つ宛つくるわけになつてあります。

箱を基として家をつくる事を思ひついたので今まで度々ボール紙や其他の材料で家をつくつて見ましたが大抵の場合は大體の形や構造は保姆の方で多くやる、時には幼児が單にこれを手傳ふとい

ふ位にとゞまつた時も澤山ありました。それは幼児には少しむづかしくて保姆の力でやる時もありました。それで「なるべく幼児の手だけで出来る」といふ事を主として考へて空箱をつかふ事にしたのであります。

ボール紙などの平面なものから立體の家に組み立てる時にはつぎ目をのりではり合せ又は糸で縫ひついたり銚でとめたりいろいろの方法をとりましたがなか／＼精確な形にはなりにくい、又出來上つたものがすぐにはがれたりはずれたりします又ボール紙そのものも厚いものなれば出來上つたところ形もよくどつしりとしませすけれどもなか

くこれを切りこなすことがむづかしい。薄いボール紙なれば製作中は割合にらくでも出来上つたものが立派に立たなかつたりいびつになつたりして見苦しい形となります。それで幼児の手だけでほとんど出来て、しかも形もよい家をつくりたいと考へた末やうやく空箱の利用といふ事になりました。これは他の方も早くにお考へになつたかも知れませんが、私としては自分でいつも苦心してありました時に考へ出したので私自身としては誠によい思ひつきとほんとにうれしくて勇氣出してやりはじめたのであります。それから幼稚園の戸棚や自分のうちの押入からいろ／＼空箱をあつめました。又幼児にも空箱をもらつて來る様に話しました。

空箱ですと大體の形は出来てゐてしかもどんな箱でもそれだけの形としてとゞつてゐてつぎ目などしつかりつゝいてゐる一番骨のおれるところが

最早や出来てゐる形もいろ／＼ちがつたのがあつて面白いのであります。それだけでなしに幼児の個人製作として各自がするとなるとボール紙も澤山に入用になつて經濟上なか／＼容易なことでないが、空箱であれば只何の用もなく捨て、しまふのを利用するわけになつて又誠に得ある材料であります。

東京地方の方々には去る十月の談話會の際に製作中の澤山の家を御覽いたゞきました。が、まああれで八九分通り出来たわけですがあれが五月六月七月九月十月とながいで間つゞけた仕事であります。家の外部の方は先づ大體四角い形の箱を下向けにしてその四方に或は窓をこしらへたり入口をこしらへたり窓わくを色模造紙ではつたりくりとつた窓には硝子戸の様にセロハンをはつたりします。が幼児が一つ一つの窓の紙から枠の紙など切つてはるので一度にいくらかも出来ません、入口には表

札をつくつて各自幼児が片假名で姓名をかいておきます。

室内の方は大きな窓丈けは保母があらかじめ切出してさりとつておきます。その窓にセロハンをはつたり窓わくを作り額をこしらへたり（額は茶色ボール紙などの上にさりがみで花や家や景色などを幼児が各自考へてつくります）テール（ボール紙の薄いもので）や椅子や時計や本箱などいろ／＼すきな道具をボール紙でこしらへておきます又クレイムペーパーでカーテンをつくり天井から電燈などつるします。自分の家にあるものを見てきては窓に植木鉢に花を植ゑたのなどつくつた人もありました。或る日は窓わくをはつただけではるときもあればある時は額一つだけのときもありますからなか／＼ながくかゝります。それにこの仕事が毎日々々つゞくといふ事は保母も幼児もつかれますから間に外の作業もまぜてする事にし

てあります。

三十人の幼児が一人に二つづゝなかには大きな箱の人もありますから、一坪位の机の上にあふれる程になつてありますが、そのまゝならべておきますと時々には自分の家や友達の家をみてはよろこんであります。

それに實習科の人々四人が中心になつて郵便局幼稚園もちやや停車場などを幼児の共同製作としてつくりかけてあります。こうして大體まちの形をとゝのへる事になつてあります。

今度の計畫は大體私自身が中心になつてやつておりますので、すべてどの幼児にも相談相手となつてやりますから、一度に四五人づゝの幼児しか出来ません。

この作業を實際にどんな様にやつておりますかは次の日誌の一節で御承知いたゞきたいと思ひます。

十月八日 火曜日 曇後晴

今日のお家づくりは

繁哉さん

三越ビルデング

お茶の罐の入つてたあき箱茶色で七八寸位の長
細い箱、丁度上に④のマークがついてゐる屋根
を三角にくみ合せて糸でとめておく

四階建として窓を四段につける

今日は窓は皆はりつけてあるかから窓わくをは
りつけるのであります。

治さん

室内をつくる。窓のガラス戸も出来たので窓か
けをつけてテーブルをつくる

忠雄さん

お家の窓わくづくり

うた子さん

お部屋の窓や窓かけ椅子テーブルも出来上つた

で時計をつくる。

あや子さん

あや子さんの箱は支那のおまんじゆうでも入つ
てたのか赤の細かい更紗模様の箱であつたので
窓わくは全部黄色でとつて窓も少し曲線を交じ
て支那風にしてみた

賢三郎さん

小さいひさしに色紙をはる。

色紙の澤山入つてゐる木の箱を机の中央におい
てその中から各自が入用なものをとつて使ふこと
にしてゐる。つき／＼と問はれるまゝに相談して
こしらへるのであるからいつも大抵この位の人數
でやります。

登園した幼児から今日の仕事の番にあたつてゐ
る幼児を一机として仕事を始めてゐるうちに組の
ほとんどの幼児も登園して男児の一團は廊下をへ
だてた前の部屋で大積木でお家をこしらへて遊ん

てゐる。兩方の部屋の戸をあけはなして時々そちらも氣をつける。

女の子はち部屋の一方にござを敷いておまじごとをはじめてゐる。

十時半頃に家づくりの人たちも一段落がついたのでやめたちとなりの山の組に今朝ほど幼児が柿のなつてゐる枝をもつてきたので大急ぎでそれを持ちにいつた。地方によつてはそんなものは珍らしくもないところもありませうが、果物屋の柿ばかりをみてゐる都會の幼児にはもの珍らしく感じられる。

おままごとの女兒だけに右の柿を寫生させた。

これと入れかはつて積木の一團の幼児にも柿の寫生させた。皆がちはつた頃はそろ／＼晝食の支度のときになつてゐたので幼児は皆庭へ出して掃除にとりかゝつた。

東京女子高等師範學校の 秋の大運動會

十月十八日、明治神宮外苑に於ける第三回目の大運動會の日。當にはならない秋の天氣、まして前日まで降つてゐたに、青空に澄みわたつたうれしい朝、感激の日である。更にこの日秩父宮妃殿下、閑院若宮妃殿下の臺臨を戴いて一層輝やかしさは増す。

附屬校園打ちよつての大家族の行事として、人も運動種目もさまざまのみのもの。ユニフォームの本校生徒の合同體操には整美にうたれるし、女學校生徒のダンスの優美さ、小學生は元氣そのものゝやう。この中に交つて幼児達はあの廣い芝生のフィールドにかわいゝ姿を現して、つな引、遊戯と風船とり競走をした。